

今回の研究授業は算数科です。昨年度は全体で算数について研究を深める機会が少なく、それぞれに指導主事から指導いただいていた。校内研としての公開授業は久しぶりで、とても新鮮でした。

単元は、3年生で初めて出てくる「わり算」です。2年生の時2クラスだった子どもたちが1クラスになって、教室いっぱいの中で学習に取り組んでいる3年生。人数が多くなっても、友だちにわかしてもらおうと必死に説明している姿やわかろうと一生懸命聞こうとする姿が見られました。

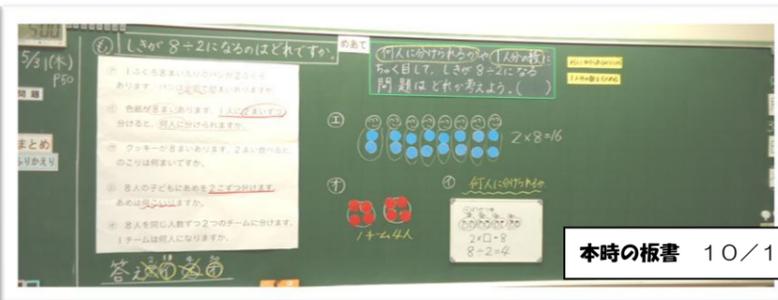


**単元名：「わり算」～新しい計算を考えよう～（東京書籍3年）**

**10/10時間目 研究授業：3年 宮川 磨理 教諭**

**本時の評価規準：【知識】**

**基本的な学習内容（除法の2つの意味についての理解）を身に付けている。**



**授業者より【研究協議】**

- ・ノートの見取りが甘くて、取り上げる児童をつかみきれていなかった。もっとノートに図をかくのかと思っていたが、言葉の説明をかいている児童が多かった。
- ・めあてに「1人分」「いくつ分」という着眼点を入れたり、適用問題を変えたりするなど前日にアドバイスをもらって指導案を変更することができた。
- ・導入場面で時間をかけてしまって、最後時間が足りなくなりました。
- ・再度復習をして、しっかり力をつけていく。



「何人に分けられますかと1人分の数に着目しなくちゃいけないから・・・  
わり算でもかけ算でも2こずつが出てくるから・・・

何人に分けられますかと書いているから問題をみたらわり算ってわかります。



**研究協議より（抜粋）**

- ・育成すべき「資質・能力」を付けるための数学的活動は効果的であったか。
- ▼問題解決にあたり、「同じ数ずつ」という言葉ばかりに注目していて、イメージできていなかった。図をかかせてそれを基に解決するとよかったのではないか。
- ▼わり算の式になる説明をしているのに、イがかけ算、オがひき算の説明になってしまっていた。図と対応させながら確かめたい。
- ・「めあて」と「まとめ」は、資質・能力ベースになっていたか。
- めあての中に「何人に分けられるか」「1人分の数」という着目する点を入れたことで、めあてに返って考えようとしていた。
- 児童の発言によるめあての設定がよかった。
- ・本時の目標が達成できたか。
- ▼着眼点が明確だったが、言葉にこだわっていた気がする。
- ▼思考する時間が足りなかった。時間を短縮するなら、問題を全員で読むことを省き、すぐ自力解決にしてもよかったのではないか。
- ・「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は実現していたか。
- 自分の考えを意欲的に発表しようとしていて、付け加えをしったり算数用語を使ったりもできていた。
- ▼ペアやグループなど対話を取り入れるとよかったのではないか。

**指導主事より**

- ・今日の授業は、除法の意味理解を確かめる問題。今年の全国学力・学習状況調査で小数の問題で同様な問題があった。正答率はあまり高くないところであり、意図してこの授業を公開することで、どこに児童のつまずきがあるのか研究でき、提案性がある。児童の多くは、計算はできるが意味理解が不十分。どんなやり方で答えを導くのが大切になっている。
- ・文章を読んで、問題場面をどれだけイメージできるかが大切。低学年から言葉だけで判断するのではなく、図と関連させて意味理解を図る必要がある。
- ・今日の授業の数学的活動は、日常場面から具体物を使って（図を操作しながら）確かめるものであった。実際に操作してみることで、かけ算の反対はわり算になっていると相互関係にも目を向けさせることができる。
- ・単元の終わりの授業であったが、最後に次「あまりのあるわり算」につなげるデザインもある。
- ・どの学年にも図の必要性を意識させたい単元が位置付けられている。例えば1年生の3つの数の計算や何人並んでいるのかを問う問題、4年生の倍の計算等があり、各々の学年で図を使う良さを実感させたい。具体物からテープ図、数直線図と系統だった指導が必要。
- ・資質能力ベースの授業にするためには、目標に返る必要がある。どんな数学的な見方・考え方をさせるのか、どんな数学的な活動を仕組んでいくのか、身につけさせたい資質・能力は一体何なのか、教師自身がしっかり持って授業のめあてを考え、授業を工夫することが大切である。

公開授業と研究協議を通して、終わりに学校長から2つの収穫があった話がありました。1つ目は、言葉だけで立式することがないよう、もっと図や式、表などを関連させた意味理解を図っていくこと、2つ目は身につけさせたい資質・能力を明確にして、そこからめあてをつくり授業を工夫していくことです。今回の校内研で本校の算数科の授業の問題点が明らかになったので、そこにメスを入れて指導を改めていきましょう。

木曜日の6時間目という変則的な時間の設定にも関わらず、背筋をびんと伸ばしてはりきって頑張っていた3年生。宮川先生、公開授業どうもありがとうございました。明日は、5年生国語科の公開授業です。今回も6時間目です。秋田先生よろしくお願いいたします。